# 長与北部地区コミュニティ
# まちづくり計画書

長崎県長与町

長与北部地区コミュニティ運営協議会

## はじめに

私たちが住んでいる長与北部地区は、漁業、農業を中心とした産業と恵まれた山・川・海の自然に囲まれた地域で、昔から人々は穏やかな生活を営んできました。しかし、長与北部地区全体で共通した姿がないまま、今日に至っていると思われます。

今回の「長与北部地区コミュニティまちづくり計画書」は、長与北部地区全体としてどのような「まち」であるべきかを、地区の皆さんへのアンケートと多くの皆さんからのご意見を参考に、各団体の方々にお集まりいただきワークショップを開催、協議の上、地区の将来像として『笑顔でふれあい　緑と人が調和し豊かな心を育む北部地区～子どもから高齢者まで、みんなにやさしく安全安心な地域づくり～』を決定いたしました。

また、各部会の活動として、青少年育成部会・広報部会の「子どもは宝　親と住民が共有する」をはじめ、健康福祉部会の「住民の健康を高めるまちづくり」、環境整備部会・女性部会の「ゴミ分別の徹底　道路環境の整備」、地域づくり部会・防犯の「明るく、豊かで、安全安心な地域づくり」を目指す姿として定め、将来に向かって北部地区コミュニティの「まちづくり」の指針として策定したものです。

平成 26 年３月
長与北部地区コミュニティ運営協議会
会長　　田中　幸利

**コミュニティまちづくり計画について**

現代社会においては、地域を取り巻く環境や住民のニーズ・価値観が多様化かつ複雑になる一方で、人と人とのふれあいや近所づきあいなどは年々希薄になりつつあります。さらに、多発する災害や環境問題、少子高齢化、子どもたちの健全な育成などといったさまざまな地域の課題に対応していくために、地域住民みんなによる、地域のための「まちづくり」を進めていくことが必要です。

そこで、地域の「まちづくり」活動を維持継続して進めていくためにも、住民みずからが「まちづくり計画」を策定し、それをもとに協力しあって解決に向けた活動に取り組んでいくことが大切で、その中核組織として地区コミュニティの重要性がますます高くなってきています。

今回、地域における長所・短所の洗い出しからその解決に向けての取り組み、その実施時期、役割分担などをまとめ、これからの地域全体の羅針盤として、「コミュニティまちづくり計画」を策定しています。

≪目　次≫

はじめに

1　長与北部地区の現状と課題 ..... 1

2　長与北部地区がめざす将来像 ..... 8

3　分野別の基本方針 ..... 9

4　主な取り組みと実施時期・役割分担 ..... 11

5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画 ..... 20

6　計画の推進に向けて ..... 21

7　資料 ..... 22

# 1　長与北部地区の現状と課題

## 長与北部地区の概況

■地理・地域

長与町の北部に位置し、岡郷、斉藤郷そして嬉里郷の一部で構成されています。大村湾に面したリアス式の海岸、背後には琴ノ尾岳を持ち、山、海、川と自然に囲まれた地域です。その恵まれた環境で漁業や農業が盛んに行なわれています。また、観光資源も多く存在しています。

■主な地域資源

| 交通 | 主なスポーツ施設 |
|---|---|
| バス　長崎バス | 総合公園運動広場　町民体育館 |
| 道路　国道 207 号 | ふれあい広場　すもう広場 |
| 県道 45 号 | テニス広場　水泳プール |
| 航路　大村湾観光汽船高速船乗り場 | 海洋スポーツ交流館　多目芝生広場 |
| | ウォーキングセンター潮井崎交流館 |
| **産業・特産品** | **公園・名所・旧跡・寺社仏閣・観光地** |
| 漁業　農業 | 潮井崎公園　和三郎憩いの広場 |
| カキ　ナマコ　みかん　オリーブ | 扇塚公園　鍋石公園 |
| いちじく　びわ　いちご | 堂﨑ノ鼻　琴ノ尾展望台 |
| **教育施設** | 前田川内洞穴遺跡　堂崎史跡 |
| 長与北小学校 | 唾飲城跡　法妙寺 |
| あやめ幼稚園 | 金比羅神社　白髭神社 |
| わかば保育園 | 岩渕神社　毘沙門天 |
| **主な公共施設** | 妙見大菩薩　堂崎観音 |
| 北部地区多目的研修集会施設 | 恵比須様　宝塔様 |
| 宿泊研修施設「つどいの家」 | まんてん　じげもん |
| 長与北児童館 | **まつり・イベント** |
| 長与港 | 川船（舟津）　竜踊（斉藤） |
| | 浮立（岡）　鎖鎌踊（嬉里谷） |
| | ペーロン大会（舟津）　なぎなた踊 |
| | ぎおんさん　夏越まつり |

■地域内の主な取り組み

・少年相撲大会
・多目まつり
・ヨット、カヌー体験教室
・防犯パトロール

■コミュニティ

| 名称 | 設立年月日 | 事務局 |
|---|---|---|
| 長与北部地区コミュニティ運営協議会 | 平成 14 年 11 月 24 日 | 長与北部地区多目的研修集会施設 |

## 長与北部地区の現況と課題

### ■多様な自治会、まだまだコミュニティとしての一体感に欠ける

平成 25 年３月末の長与北部地区の人口は、7,012 人、世帯数は 2,654 世帯で、長与町全体に占める割合はそれぞれ 16.5%と 16.2%、また１世帯あたりの平均世帯人員は約 2.6 人となっています。

構成する自治会数は 12 自治会で、人口が最も多いのは三彩自治会（1,571 人）、最も少ないのは川頭自治会（８人）と、各自治会の規模の大きさや歴史、従事する職種などが大きく異なっている上、地域活動の中心はまだ自治会であり北部地区コミュニティとして全体の一体感に欠けるところがあります。さらに、その自治会加入率は地区全体で 68.3%と長与町全体の 74.2%を下回り、これからますます重要になってくる自治会活動への影響を考えると、今後加入率の向上が課題となります。他にも、各行事やイベントへの参加者のかたより、役員の高齢化や負担の重さなどが挙げられ、若年層や新住民をいかに地域へ取り込むかなどの対応策が求められています。

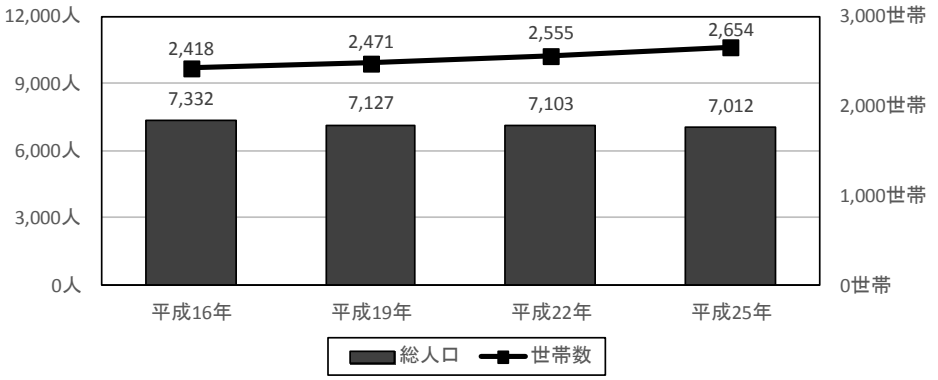
一方、アンケート調査においては、「隣近所の付き合いが深く、助け合いもある」との回答が町全体より高いなど比較的地域内のつながりがあり、また地域に伝統芸能が多く、結果として付き合いが良くなるという面も持っています。

**自治会別人口・世帯の状況**

| 自治会名 | 男 | 女 | 計 | 世帯 | 高齢化率 | 15 歳未満人口率 | 自治会加入世帯数 | 自治会加入率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **長与町全体** | **20,242** | **22,155** | **42,397** | **16,397** | **20.3%** | **15.7%** | **12,173** | **74.2%** |
| | | | | | | | | |
| 嬉里谷 | 460 | 471 | 931 | 343 | 16.5% | 16.0% | 276 | 80.5% |
| 三彩 | 743 | 828 | 1,571 | 639 | 21.5% | 16.0% | 403 | 63.1% |
| 上斉藤 | 160 | 164 | 324 | 128 | 25.3% | 15.4% | 74 | 57.8% |
| 毛屋白津 | 173 | 153 | 326 | 118 | 30.1% | 10.1% | 88 | 74.6% |
| 舟津 | 212 | 222 | 434 | 169 | 29.7% | 14.1% | 121 | 71.6% |
| 佐敷川内 | 349 | 372 | 721 | 272 | 20.7% | 13.5% | 196 | 72.1% |
| 前田川内・浜崎 | 497 | 541 | 1,038 | 375 | 15.7% | 14.0% | 277 | 73.9% |
| 岡中央 | 544 | 606 | 1,150 | 411 | 18.2% | 14.7% | 231 | 56.2% |
| 馬込一本松 | 84 | 99 | 183 | 76 | 34.4% | 11.5% | 48 | 63.2% |
| 塩床 | 85 | 88 | 173 | 58 | 35.3% | 6.9% | 41 | 70.7% |
| 川頭 | 3 | 5 | 8 | 4 | 25.0% | 0.0% | 2 | 50.0% |
| 岡岬 | 65 | 88 | 153 | 61 | 9.2% | 20.3% | 55 | 90.2% |
| **北部地区合計** | **3,375** | **3,637** | **7,012** | **2,654** | **20.8%** | **14.5%** | **1,812** | **68.3%** |
| | | | **16.5%** | **16.2%** | | | | |

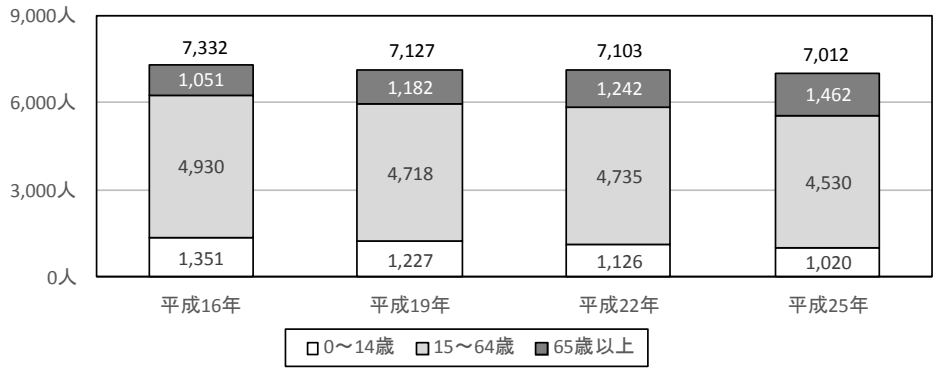
住民基本台帳：平成25年3月31日

人口・世帯数の推移




資料：住民基本台帳（各年３月末）

３区分別人口構成比の推移




資料：住民基本台帳（各年３月末）

■地域全体で高齢化への対応が求められている

長与北部地区の高齢化率は平成 25 年３月末で 20.8%と、長与町全体の 20.3%をわずかに上回る程度ですが、データをみると、人口減少、高齢者増加、子どもの減少が地区内で確実に進んでおり、今後の対策が望まれています。また、ひとり暮らしや夫婦のみ世帯の高齢者も年々増加しており、これからは地域全体での見守りや、買い物など生活支援、災害時等への取り組みのさらなる充実が不可欠となっています。

■子ども会への加入や、地域行事へ親子での参加が望まれる

前述したように地区全体での少子化に加え、近年、ライフスタイルや価値観の変化、また核家族化などにより、子ども会への加入が減少し活動自体も縮小しています。今後はさまざまな体験や交流の機会を増やし、子ども会への加入や伝統芸能への参加を増やす取り組みが必要となっています。また、青色防犯パトロール隊や登下校時における「見守り隊」のさらなる充実、アンケート調査でも意見の多かった子どもが安心して遊べる広場の整備などが求められています。

■防災に対する住民の意識は高い

アンケート調査によると、これから地区に必要な地域活動として「防災活動」が最も高くなっています。これは災害に対する住民意識の高まりを示していますが、一方で災害時に隣近所の住民がわからない等の意見も出ており、普段からのふれあいや交流で住民同士のつながりを深め、災害に対する地区全体の意識の醸成が求められています。

また、住民ワークショップやアンケート調査で、道路や歩道が狭いなどの環境面から、自動車や自転車におけるスピードの出しすぎなどのマナーの問題まで、交通安全に対しての問題点が多く出されています。子どもから高齢者が安心して暮らせる地区への取り組みが必要となっています。

■自然に恵まれた地区だが、今後は住環境の整備、利便性の向上を

海、山、川と大いなる自然に恵まれている北部地区。住民は、この自然に誇りを持ち、地区全体で守って次世代につなげていこうという意識も高く、自然環境の維持やボカシづくりをはじめとした環境にやさしい取り組みを実施しています。しかし、生活排水等による長与川の汚れや不法投棄、ゴミの未分別などの問題点も指摘されています。

また、地区によっては、交通の便が悪い、街灯が少ない場所があるという意見や、高齢者などの買い物弱者への対策など、今後は生活基盤の改善、利便性の向上を目指し、より住みやすい地域にしていくことが望まれます。

■豊富な史跡や伝統芸能の保存継承が課題、また産業の活性化が望まれる

北部地区の魅力に、各地区に残る史跡や伝統芸能などがあり、地域で保存に向けての努力が続けられています。しかし、後継者の不足などによりこれらの保存、継承が難しくなってきています。今後は、この北部地区の財産を次世代に伝え残すことを広くＰＲし、観光資源として確立することなどが課題となっています。

また、豊かな自然を背景とした産業の振興も北部地区コミュニティとして取り組むべき課題といえます。これからは、地域と行政との協働で農業や漁業の活性化を図り、地産地消を促すとともに、六次産業化まで視野に入れた地域の地力の底上げが求められています。

ワークショップで出た主な意見

**青少年育成部会**

| 伸ばしていきたいところ（地域の長所） | 解決していきたいところ（地域の課題） |
|---|---|
| ・子どもを大事にする。<br>・小学生は素直である。<br>・子どもたちとのふれあいで、ペーロン大会がある。<br>・子どもをみんなで見守っている。<br>・地域でパトロールや交通整理がある。<br>・子どもたちが安心して過ごせる。（見守り隊の活動）<br>・防犯パトロール、子どもたちの見守り。<br>・文化のレベルが高い。 | ・子どもが少ない。<br>・注意を聞かない子ども、親が多い。<br>・自治会内の子ども会はあるが、小、中学生が少ない。<br>・子ども会がなくなり、活動が少ない。<br>・子ども→行事に参加が少ない。（子ども会加入者減）<br>・子どもたちが自由に遊べる広場が少ない及び狭い。 |

**健康福祉部会**

| 伸ばしていきたいところ（地域の長所） | 解決していきたいところ（地域の課題） |
|---|---|
| ・高齢者に対して、気づかいする人が多い。<br>・高齢者を大事にする。 | ・病院が無い。病院までが遠い。<br>・近くにスーパーなどなく、買物が不便である。 |

**環境整備部会**

| 伸ばしていきたいところ（地域の長所） | 解決していきたいところ（地域の課題） |
|---|---|
| ・スポーツ施設が集中している点が良い。<br>・山と海があり、自然の美しさを楽しむことが出来る地域である。<br>・大村湾でとれるナマコ、カキ等、おいしい魚介類が多様である。<br>・人口密度がちょうど良い。<br>・生活環境は良い。<br>・道路が整備されている岡地区。<br>・川のそばだけど、災害に強い地区だと思う。<br>・ゴミの集積場の整備がよい地区。<br>・資源分別は、かなりよい精度で分類されている。<br>・多目で資源を収集出来る様になった。 | ・川が汚れて臭い。<br>・国道 207 号の整備が悪い。<br>・中程度の雨で、道路が冠水する。<br>・国道の歩道が変則で危険。<br>・道路道幅が狭く、危険である。（意見多数）<br>・道路が狭く、歩道も路側帯もない道路が多い。<br>・船津橋から北小までの通学路が危険。<br>・道が狭いのに、スピードを出して走る車がある。<br>・道路の渋滞がひどい。<br>・交通が不便。<br>・がけくずれのおそれがある場所が多い。<br>・災害時に隣近所の住民がわからない。<br>・ごみステーションに分別して出さない人が多い。 |

**地域づくり部会**

| 伸ばしていきたいところ（地域の長所） | 解決していきたいところ（地域の課題） |
|---|---|
| ・自治会への加入が良い。<br>・自治会が良くまとまっている。<br>・自治会に入っている人は、いろんな行事に参加し、声を掛けると集まってくれる。<br>・地域とのつながりが深い。<br>・近所づきあいがよく、互いによく協力しあっている。<br>・地域行事に参加する人が多い。<br>・スポーツ活動を通じて、新旧住民の交流が活発。<br>・地域の伝統文化を大事にし、次世代に受け継がれている。 | ・自治会に対する関心が薄く、自治会に加入しない人が増えている。<br>・転入者への勧誘方法を検討する必要がある。<br>・自治会の中に青年員が少ない。<br>・コミュニティ活動への参加が少ない。<br>・地域全体での、三世代交流の場がない。<br>・近所のつきあいがない。<br>・各種行事・催事への参加する顔ぶれがいつも同じ傾向にある。<br>・旧住民と、新住民との関係がうまくいっていない。<br>・文化財に対するアピールが悪い。 |

## 2　長与北部地区がめざす将来像

長与北部地区の将来像を以下に示します。この目標案は、みんな笑顔で交流しよう、地区内の恵まれた自然を大切にして次世代へ渡そう、そして、大人から子どもまで全員が一体となって豊かで大きな心を育んでいこうというものです。また、副題には、現在の大きな課題である「安全安心」を挙げることでコミュニティとして取り組むべきことを明確にして、子どもや高齢者の防犯防災、交通安全などに対し、地域住民の意識を高めていくことを目的としています。

**将来像**

**笑顔でふれあい　緑と人とが調和し豊かな心を育む北部地区**

**～子どもから高齢者まで、みんなにやさしく安全安心な地域づくり～**

## 3　分野別の基本方針

将来像を達成するために、以下に示す４つの部会ごとに「目指す姿と基本方針」を掲げ実現に向かって行動します。

| 青少年育成部会<br>広報部会 | 目指す姿 |
|---|---|
| | **子どもは宝　親と住民が共有する** |
| 基本方針 | 子どもに対し、親と学校だけでなく自治会やコミュニティが一体となり、各種体験やふれあいの場を通じて子どもたちの健全な育成を図ります。子どもたちの安全についても現在の取り組みをさらに充実させていきます。また、郷土芸能に対しても、子どもやその親の積極的な参加を目指すとともに、後継者確保・育成に努めます。 |

| 健康福祉部会 | 目指す姿 |
|---|---|
| | **住民の健康を高めるまちづくり** |
| 基本方針 | 地域住民の健康のために、健康診断受診率の向上や各健康講座、勉強会などに取り組んでいきます。また、高齢者の孤立化を防ぎ、生活支援の充実や、みんなが集える交流の場づくりを目指します。 |

| 環境整備部会<br>女性部会 | 目指す姿 |
|---|---|
| | **ゴミ分別の徹底　道路環境の整備** |
| 基本方針 | ゴミの見回りパトロールなどの環境美化運動を強化推進し、ゴミのないきれいで快適な北部地区を目指します。また、通学路や生活道路の安全を確保しつつ、自動車、自転車の交通マナーの向上に取り組んでいきます。 |

| 地域づくり部会<br>防犯 | 目指す姿 |
| --- | --- |
| | **明るく、豊かで、安全安心な地域づくり** |
| 基本方針 | 地域でのイベントの誘致・開催や各地区に残る伝統芸能を継承していくことで、住民同士がふれあう機会を広げ、地域の絆づくり及び行政を含む関係団体の連携を図っていきます。それらの活動を通じて、自治会、コミュニティ組織を強化し、地域内の人材発掘、次世代のリーダー育成を目指します。<br>また、大村湾の活用など美しい自然環境や自然の恵みを活かした取り組みを進め、地域の活性化を図ります。 |

## 4　主な取り組みと実施時期・役割分担

４つの部会別の基本方針に沿って、今後取り組むべき取り組みとその時期、役割分担を以下のように整理します。

**〇施策時期について**

| | |
|---|---|
| 短期 | 1～2 年で取り組む |
| 中期 | 3～5 年で取り組む |
| 長期 | 6～10 年で取り組む |

**〇役割分担について**

| | |
|---|---|
| 地域 | 地区内で取り組むこと |
| 協働 | 地区と行政が共同で取り組むこと |
| 行政 | 行政が取り組むこと |

**〇体系のイメージ**

| | 部会 | 目指す姿 | 取り組む分野 |
|---|---|---|---|
| 将来像　笑顔でふれあい　緑と人とが調和し豊かな心を育む北部地区<br>～子どもから高齢者まで、みんなにやさしく安全安心な地域づくり～ | 青少年育成部会<br>広報部会 | 子どもは宝　親と住民が共有する | 子ども |
| | | | 郷土芸能 |
| | 健康福祉部会 | 住民の健康を高めるまちづくり | 住民の健康 |
| | | | 高齢者の福祉 |
| | | | 交通弱者・買物弱者 |
| | 環境整備部会<br>女性部会 | ゴミ分別の徹底　道路環境の整備 | ゴミ問題 |
| | | | 交通・道路 |
| | 地域づくり部会<br>防犯 | 明るく、豊かで、安全安心な<br>地域づくり | ふれあいの機会の充実 |
| | | | 自治会、コミュニティ組織機構の強化 |
| | | | 地域産業の活性化、 |
| | | | 文化芸能を通じた地域の絆づくり |
| | | | 地域と行政の一体化 |
| | | | 安全安心な地域づくり |

**青少年育成部会・広報部会**

目指す姿　**子どもは宝　親と住民が共有する**

**現在、地区で取り組んでいること**

| | |
|---|---|
| ・ヨット、カヌーの体験教室 | ・ふれあいペーロン大会 |
| ・昔あそび | ・すもう大会 |
| ・餅つき | ・子どもまつり |
| ・青パト（防犯） | ・米づくり |

**今後、取り組むこと**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 短期<br>1−2 年 | 中期<br>3−5 年 | 長期<br>6-10 年 | 地域 | 協働 | 行政 |
| 子ども | | | | | | |
| ■自治会組織で子ども会を育成する | ┅┅ | ┅┅ | ━━ | | ○ | |
| ■親の連帯の場をつくる（レクリエーション、ミーティング） | ━━ | | | ○ | | |
| ■子どもの親とコミュニティとの、コミュニケーションを計画的に実施する | ━━ | | | ○ | | |
| ■子ども会の運営に地域の方も積極的に参加する | ━━ | | | ○ | | |
| ■学校行事とコミュニティ連携強化 | ━━ | | | ○ | | |
| ■子どもも高齢者も楽しく遊べる場所づくり | ━━ | | | ○ | | |
| ■いろいろな年齢で集まる環境づくり | ━━ | | | ○ | | |

**今後、取り組むこと**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 短期<br>1−2 年 | 中期<br>3−5 年 | 長期<br>6-10 年 | 地域 | 協働 | 行政 |
| **郷土芸能** | | | | | | |
| ■郷土芸能デー、郷土芸能ウィークを設定する | ━━ | | | | ○ | |
| ■郷土芸能など、地域をこえての活動を推進する | ━━ | | | | ○ | |
| ■地域、学校、行政一体で活動に取り組む | ━━ | | | | ○ | |
| ■学校とコミュニティの連携を強化する | ━━ | | | | ○ | |
| ■伝統芸能を学校で披露する | ━━ | | | | ○ | |
| ■郷土芸能に対する親の理解を深め、積極的に参加させる | ━━ | | | ○ | | |
| ■郷土芸能の後継者を確実に育てる | ━━ | | | | ○ | |
| ■郷土芸能の練習に、親の送迎ができない家の子どもも参加できる仕組みづくり | ━━ | | | ○ | | |

※網かけの施策は重要プロジェクト　　※破線は検討、準備期間

実線は実施期間

**健康福祉部会**

目指す姿　**住民の健康を高めるまちづくり**

**現在、地区で取り組んでいること**

| | |
|---|---|
| ・健康づくりウォーキング | ・転ばん体操 |
| ・グラウンド･ゴルフ | ・ペタンク |

**今後、取り組むこと**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 短期<br>1−2 年 | 中期<br>3−5 年 | 長期<br>6−10 年 | 地域 | 協働 | 行政 |
| **住民の健康** | | | | | | |
| ■健康診断の受診率を高める | ━━ | | | | ○ | |
| ■健康増進を図るため、施設の充実を目指す | ━━ | | | | ○ | |
| ■食の指導、ヘルシー食の実習指導を行う | ━━ | | | | ○ | |
| ■近所の方を誘い合って、健康維持に努める | ━━ | | | ○ | | |
| ■転ばん体操を広める | ━━ | | | | ○ | |

**今後、取り組むこと**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 短期<br>1−2 年 | 中期<br>3−5 年 | 長期<br>6−10 年 | 地域 | 協働 | 行政 |
| **高齢者の福祉** | | | | | | |
| ■各地域にサロンを立ち上げ、多くの方が参加できるように誘う | ━━ | | | ○ | | |
| **交通弱者・買い物弱者** | | | | | | |
| ■停留所以外にも止められるような小型バスの導入 | ┅┅ | ━━ | | | ○ | |
| ■介護のためのタクシーを利用できるようなシステムの構築 | ━━ | | | | ○ | |

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間

実線は実施期間

**環境整備部会・女性部会**

目指す姿　**ゴミ分別の徹底　道路環境の整備**

**現在、地区で取り組んでいること**

- 年に２回、歩道の草取りを実施（定林橋～ふれあい広場）
- 防犯パトロールの実施（小学生の登下校時）

**今後、取り組むこと**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 短期<br>1−2 年 | 中期<br>3−5 年 | 長期<br>6-10 年 | 地域 | 協働 | 行政 |
| **ゴミ問題** | | | | | | |
| ■ゴミステーションに取り付けている分別看板の点検を年２回実施する | ━━ | | | | ○ | |
| ■道路、歩道、公園の草払いをする | ━━ | | | | ○ | |
| ■ゴミ見廻り隊をつくって道路、公園、海岸等を年２回はパトロールする | ━━ | | | | ○ | |
| ■危険の看板を立てる | ━━ | | | ○ | | |
| ■ペットに関するマナーのモラルアップ | ━━ | | | | ○ | |

**今後、取り組むこと**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 短期<br>1−2 年 | 中期<br>3−5 年 | 長期<br>6-10 年 | 地域 | 協働 | 行政 |
| **交通・道路** | | | | | | |
| ■ドライバーに注意を喚起する取り組み | ━━ | | | | ○ | |
| ■年に２回、歩道の草取りを実施 | ━━ | | | ○ | | |
| ■年に２回、スクールゾーンの表示、白線の点検を実施 | ━━ | | | | ○ | |

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

**地域づくり部会・防犯**

目指す姿　**明るく、豊かで、安全安心な地域づくり**

**現在、地区で取り組んでいること**

| | |
|---|---|
| ・絆づくり | ・産業の発展（場づくり） |
| ・伝統芸能の継承 | ・組織強化 |

**今後、取り組むこと**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 短期<br>1−2 年 | 中期<br>3−5 年 | 長期<br>6-10 年 | 地域 | 協働 | 行政 |
| ふれあいの機会の充実 | | | | | | |
| ■スポーツ、イベントの誘致 | ━━ | | | | ○ | |
| ■フリーマーケットの立ち上げ | ━━ | | | | ○ | |
| ■各種団体との連携を進める | ━━ | | | | ○ | |
| 自治会、コミュニティ組織機構の強化 | | | | | | |
| ■自治会やコミュニティ活動を地域住民に理解してもらう | ┅┅ | ━━ | | ○ | | |
| ■行事等、自治会員への周知徹底を図り、参加者の固定化を防ぐ | ━━ | | | ○ | | |
| ■自治会未加入者にも、地域行事に参加出来る体制をつくる | ┅┅ | ━━ | | | ○ | |
| ■組織運営等の研修、習得（情報の共有） | ━━ | | | | ○ | |

**今後、取り組むこと**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 短期<br>1−2 年 | 中期<br>3−5 年 | 長期<br>6-10 年 | 地域 | 協働 | 行政 |
| **地域産業の活性化** | | | | | | |
| ■町内特産物直売所の活性化<br>地域特産物の消費促進・拡大 | ▪▪▪▪ | ▬▬ | | | ○ | |
| ■六次産業化の種を見つける | ▪▪▪▪ | ▬▬ | | ○ | | |
| ■大村湾を活かす<br>環境浄化、生産の場、観光の資源としての整備 | ▪▪▪▪ | ▬▬ | | | ○ | |
| ■観光資源の掘り起こし<br>堂崎公園等、地域史跡の活用 | ▪▪▪▪ | ▪▪▪▪ | ▬▬ | | ○ | |
| **文化芸能を通じた地域の絆づくり** | | | | | | |
| ■ペーロン、竜踊、浮立等、地域の伝統行事を継承する | ▬▬ | | | | ○ | |
| ■PR 用の DVD を作成し、地区などの集会時に紹介する | ▪▪▪▪ | ▬▬ | | | ○ | |
| **地域と行政の一体化** | | | | | | |
| ■地域と行政の一体化による活力ある地域づくり、まちづくりを実施する<br>※意思疎通の機会を設ける | ▬▬ | | | | ○ | |
| **安全安心な地域づくり** | | | | | | |
| ■防犯・防災<br>危険な個所の確認、周知、対策の実施 | ▬▬ | | | | ○ | |

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

## 5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画

前項の取り組むべき施策の中で、特に部会内で重要であると思う項目や優先順位がも高いと思う取り組み案を１つ選び、具体的な取り組みを示します。

| 青少年育成部会・広報部会重要プロジェクト**「自治会組織で子ども会を育成する」** |
|---|
| ●活動内容<br>・今後、斉藤地区で取り組もうとしている「青年部を中心とした地域の活性化」活動の中で、子ども会を支援しようという方策を一つのモデルとする。そしてこのモデルを他地区に広げ、今後、長与町の活動の軸にする。 |

| 健康福祉部会重要プロジェクト**「健康診断の受診率を高める」** |
|---|
| ●活動内容<br>・啓発活動をする。<br>・各自治会に目立つような看板を立てる。 |

| 環境整備部会・女性部会重要プロジェクト**「年に２回、歩道の草取りを実施」** |
|---|
| ●活動内容<br>・年に２回、区間を区切って歩道の草取りをする。<br>・区間が長いと問題なので区切る。<br>・イベントの前にする。<br>・コミュニティ（会長）を通じて参加を呼びかける。 |

| 地域づくり部会重要プロジェクト**「文化芸能を通じた地域の絆づくり」** |
|---|
| ●活動内容<br>・各保存会組織との協議・協力<br>・発表の機会づくり（イベントの開催、国体等への参加） |

## 6　計画の推進に向けて

以上のように、『笑顔でふれあい　緑と人とが調和し豊かな心を育む北部地区』を実現し、長与北部地区コミュニティをさらに発展させていく上で、取り組むべきことは多くあります。しかし、現状では一部の人に負担が偏ったり、活動する人が限られたりと、これではどうしても継続的な地域づくりは難しくなってきます。従って、今後は以下のように取り組んでいきます。

■今回策定した「長与北部地区コミュニティまちづくり計画書」を、地域全体の計画とするために、全住民への周知に取り組み、理解を図ります。

■計画を推進していくためには、地域づくりのための仕組みづくりが必要です。コミュニティを中心に地域住民、自治会、行政、ＮＰＯなどが参加、参画、連携、協働することにより、計画の一層の充実を図っていきます。

■計画の推進にあたっては、何に取り組み、予算はどう配分するのかなどを、民主的に透明性をもって決定していきます。

■計画の推進にあたっては、人材の適材適所、地域内の人的資源、特に若い力や女性の力の掘り起しに努めます。

■計画は進捗状況を確認し、必要に応じて見直しを行っていくことが大切です。
見直しが必要になった際には、コミュニティ内で話し合う場を設け、行政を交えながら計画を推進していきます。

# 7　資料

■コミュニティまちづくり計画策定の経緯

| 開催日 | 内容 |
|---|---|
| 平成 24 年<br>12 月3日～12 月 25 日 | コミュニティまちづくり計画アンケート調査の実施 |
| 平成 25 年　8月 23 日 | 第１回　住民ワークショップ<br>・地区の長所と課題の整理 |
| 9月 27 日 | 第２回　住民ワークショップ<br>・地区の将来像と部会の目指す姿の検討 |
| 10 月 25 日 | 第３回　住民ワークショップ<br>・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（1） |
| 11 月 22 日 | 第４回　住民ワークショップ<br>・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（2） |
| 平成 26 年　1月 31 日 | 第５回　住民ワークショップ<br>・重点プロジェクト及び計画書のまとめ |

■住民ワークショップ参加者名簿

| | | |
|---|---|---|
| 会長 | 田中　幸利 | 塩床自治会 |
| 副会長 | 木下　範征 | 毛屋白津自治会 |
| 副会長 | 古賀　親子 | 佐敷川内自治会 |
| 副会長 | 黒川　政光 | 前田川内・浜崎自治会 |
| 事務局長 | 吉岡　良治 | 舟津自治会 |
| 事務局次長 | 和田　和隆 | 前田川内・浜崎自治会 |
| 会計 | 江川　成子 | 三彩自治会 |
| 青少年育成部会・広報部会 | | |
| 部会長 | 山口　賢剛 | 岡中央自治会 |
| 副部会長 | 上野　公輝 | 毛屋白津自治会 |
| 副部会長 | 山下　健吾 | 前田川内・浜崎自治会　長与北小学校育友会会長 |
| 理事 | 宮本　昭雄 | 長与北小学校校長 |
| 理事 | 白石　幹幸 | 長与中学校校長 |
| 理事 | 山口　満利 | 毛屋白津自治会長 |
| 理事 | 井上　義啓 | 上斉藤自治会長 |
| 理事 | 中川　秀美 | 舟津自治会　恵比寿会会長 |
| | 山本　博子 | 岡中央自治会　子ども育成部長 |
| | 林　　文則 | 塩床自治会　消防第 1 分団長 |
| | 中川　雅博 | 舟津自治会　消防第 2 分団長 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 田 中　　修 | 上斉藤自治会 | 消防第 9 分団長 |
| | 山崎　明祥 | 毛屋白津自治会 | 斉藤公民館長 |
| 広報部会長 | 中村　幹雄 | 三彩自治会 | |
| 健康福祉部会 | | | |
| 部会長 | 森　　一 久 | 前田川内・浜崎自治会 | 民生・児童委員 |
| 副部会長 | 平野　義久 | 三彩自治会 | 民生・児童委員 |
| | 高橋　昇子 | 三彩自治会 | 民生・児童委員 |
| | 松本　敏江 | 馬込一本松自治会 | 民生・児童委員 |
| | 山下　金雄 | 岡中央自治会 | 民生・児童委員 |
| | 帯田　直康 | 上斉藤自治会 | 民生・児童委員 |
| | 吉村　昭利 | 上斉藤自治会 | 斎会会長 |
| | 北村　秀則 | 三彩自治会 | 三彩会会長 |
| | 森田　靖代 | 三彩自治会 | 三彩公民館長 |
| 環境整備部会・女性部会 | | | |
| 部会長 | 福 田　　勝 | 三彩自治会 | |
| 副部会長 | 東島　敏美 | 三彩自治会 | |
| 理事 | 浅井　春千代 | 馬込一本松自治会 | |
| 理事 | 古賀　直行 | 佐敷川内自治会長 | |
| 理事 | 中川　勝秀 | 三彩自治会長 | |
| | 氏原　正則 | 前田川内・浜崎自治会 | 浜崎公民館長 |
| 女性部会長 | 高岩　三枝子 | 舟津自治会 | |
| 女性部会補佐 | 寺 原　　功 | 三彩自治会 | |
| 地域づくり部会・防犯 | | | |
| 部会長 | 和田　和隆 | 前田川内・浜崎自治会 | |
| 副部会長 | 田中　靖二 | 塩床自治会地区 | |
| 理事 | 山本　利孝 | 岡中央自治会長 | |
| 理事 | 松尾　富則 | 前田川内・浜崎自治会長 | |
| 理事 | 廣瀬　範三 | 舟津自治会長 | |
| 理事 | 櫻木　満喜枝 | 前田川内・浜崎自治会 | 多目的集会施設館長 |
| 推進部長 | 長浦　むつみ | 馬込一本松自治会 | |
| | 中尾　哲雄 | 岡中央自治会 | 下岡公民館長 |
| | 井手　敏和 | 舟津自治会 | 民生・児童委員 |
| 防犯 | 内田　國光 | 岡中央自治会 | |
| 防犯 | 辻　　初 義 | 岡中央自治会 | |
| 防犯 | 今坂　勝利 | 佐敷川内自治会 | |

# 長与北部地区コミュニティまちづくり計画書

平成 26 年 3 月発行

長崎県長与町

長与北部地区コミュニティ運営協議会